

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2011-68029

(P2011-68029A)

(43) 公開日 平成23年4月7日(2011.4.7)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
B 4 2 D 15/04 (2006.01)	B 4 2 D 15/04 A	2 C 0 0 5
B 4 2 D 15/02 (2006.01)	B 4 2 D 15/02 5 O 1 A	
B 4 2 D 15/10 (2006.01)	B 4 2 D 15/10 5 4 1	

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号	特願2009-221058 (P2009-221058)	(71) 出願人	000002897
(22) 出願日	平成21年9月25日 (2009. 9. 25)		大日本印刷株式会社
			東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
		(74) 代理人	100111659
			弁理士 金山 聡
		(74) 代理人	100135954
			弁理士 深町 圭子
		(74) 代理人	100119057
			弁理士 伊藤 英生
		(74) 代理人	100122529
			弁理士 藤枿 裕実
		(74) 代理人	100131369
			弁理士 後藤 直樹

最終頁に続く

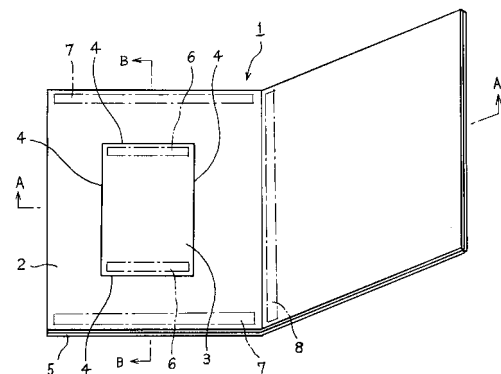
(54) 【発明の名称】 冊子状印刷物

(57) 【要約】

【課題】冊子状の冊子状印刷物に葉書などの分離用の用紙片を設ける場合にも、切り取りミシン目を設けなくても、ハサミを用いることなく簡単にその用紙片を分離できるようにすることができる冊子状印刷物を提供する。

【解決手段】複数枚の用紙が重ね合わされ、前記用紙の略中央部分で接着されて見開き可能な状態で冊子状に綴じ合わされている冊子であって、前記複数枚の用紙の中から任意に選択され、直接重ね合わされている2枚の用紙の上側に位置する上側用紙には、所定領域部の外形部分に沿って切り込みが形成された切り込み部を有し、前記2枚の用紙のうち、下側に位置する下側用紙の表面領域において、前記上側用紙の前記所定領域部と上下方向において一致する領域の所定部分部に剥離可能な接着剤層が設けられて、前記剥離可能な接着剤層により前記上側用紙の前記所定領域部と前記下側用紙の表面領域とが剥離可能に接着されている。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

複数枚の用紙が重ね合わされ、前記用紙が接着されて見開き可能な状態で冊子状に綴じ合わされている冊子であって、

前記複数枚の用紙の中から任意に選択され、直接重ね合わされている 2 枚の用紙の上側に位置する上側用紙には、所定領域部の外形部分に沿って切り込みが形成された切り込み部を有し、

前記 2 枚の用紙のうち、下側に位置する下側用紙の表面領域において、前記上側用紙の前記所定領域部と上下方向において一致する領域の所定部分に剥離可能な接着剤層が設けられて、前記剥離可能な接着剤層により前記上側用紙の前記所定領域部と前記下側用紙の表面領域とが剥離可能に接着されていることを特徴とする冊子状印刷物。

10

【請求項 2】

前記切り込み部で囲い込まれた領域の外部領域の所定部分に、前記上側用紙と前記下側用紙とを剥離可能に接着する剥離可能な接着剤層が設けられていることを特徴とする請求項 1 記載の冊子状印刷物。

【請求項 3】

前記複数枚の用紙の一部用紙が、他の用紙よりも長い寸法で形成され、前記一部用紙には、折り部を有し、該折り部で前記一部用紙が折り畳まれ、前記一部用紙同士が剥離可能に接着されていることを特徴とする請求項 1 記載の冊子状印刷物。

20

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、用紙を冊子状に折り畳んだ状態で使用する印刷物であって、特に印刷用紙の一部分を分離させて葉書、カード、クーポン券、チケット、などの用途に用いることができるようにした冊子状印刷物に関する。

【0002】

従来、例えば広告用印刷物などにおいて、その印刷用紙の一部分に葉書部を設けておき、顧客がその広告内容に興味を持つなどした場合には、その葉書部を切り取り、葉書として申し込みを行なえるようにしたものが知られている。

30

【0003】

このような葉書部を有する印刷物としては、印刷用紙の一部分を葉書部として、この葉書部の周囲に切り取り線や切り取りミシン目を形成させておく構成のもの（例えば、特許文献 1、参照）や、印刷用紙の一部分を葉書部としておき、その葉書部の周囲に切り込みを形成させておくと共に、葉書部の裏面側と、葉書部の下側に重ね合わせた用紙の表面側と、を剥離可能に接着させた構成のもの（例えば、特許文献 2、3、参照）などが既に高知となっている。

【0004】

しかしながら、上記した従来の印刷物には、種々の問題がある。

まず、葉書部の周囲に切り取り線や切り取りミシン目を形成させておく構成のものは、用紙から葉書部をハサミで切り取るという手間がかかり、面倒であり、また、切り取りミシン目から葉書部を切り取った場合には、葉書部の周囲に切り取った跡がギザギザな状態で残って体裁が悪いなどの問題がある。

40

【0005】

また、葉書部の周囲に切り込みを形成させ、葉書部の裏面側で、その下側に重ねられている用紙上面と剥離可能な接着剤で仮接着させる構成のものでは、1 枚の用紙を折り畳んでパンフレットのように使用する形態のものが知られているが、冊子状の印刷物には使用できないという問題がある。

従来、冊子に葉書を設けた構成のものは、冊子の一部に葉書用紙を綴り合わせて、葉書の部分を切り取りミシン目などで切り取る構成のものが使用されており、この場合でも、

50

切り取りミシン目から葉書部を切り取った場合には、葉書部の周囲に切り取った跡がギザギザな状態で残って体裁が悪いなどの問題がある。

また、切り取りミシン目を設けない場合には、葉書部を、ハサミなどを使用して切り取らなければならない、手間がかかり面倒であるという問題がある。

【 0 0 0 6 】

また、上記のような葉書部を有するものに限らず、冊子の一部に分離させて使用するためのカード、クーポン券、チケット、など種々の媒体を設けたものであっても、従来の印刷物では、それらの印刷物から分離させる際に手間がかかったり、周囲に切り取った跡がギザギザな状態で残って体裁が悪いなどの問題がある。

【 先行技術文献 】

10

【 特許文献 】

【 0 0 0 7 】

【 特許文献 1 】 実用新案登録第 3 0 9 6 9 1 0 号 公 報

【 特許文献 2 】 特開 2 0 0 5 - 2 3 8 5 0 3 号 公 報

【 特許文献 3 】 特開 2 0 0 6 - 2 9 7 6 8 7 号 公 報

【 発明の概要 】

【 発明が解決しようとする課題 】

【 0 0 0 8 】

そこで、本発明は、冊子状の印刷物に葉書、カード、クーポン券、チケット、など種々の分離用の用紙片を設ける場合にも、切り取りミシン目を形成させないでも、ハサミを用いることなく簡単に葉書部を分離できるように構成することができる冊子状印刷物を提供する。

20

【 課題を解決するための手段 】

【 0 0 0 9 】

本発明の冊子状印刷物は、複数枚の用紙が重ね合わされ、前記用紙が接着されて見開き可能な状態で冊子状に綴じ合わされている冊子であって、前記複数枚の用紙の中から任意に選択され、直接重ね合わされている 2 枚の用紙の上側に位置する上側用紙には、所定領域部の外形部分に沿って切り込みが形成された切り込み部を有し、前記 2 枚の用紙のうち、下側に位置する下側用紙の表面領域において、前記上側用紙の前記所定領域部と上下方向において一致する領域の所定部分に剥離可能な接着剤層が設けられて、前記剥離可能な接着剤層により前記上側用紙の前記所定領域部と前記下側用紙の表面領域とが剥離可能に接着されていることを特徴とする。

30

【 0 0 1 0 】

また、本発明の冊子状印刷物は、前記切り込み部で囲い込まれた領域の外部領域の所定部分に、前記上側用紙と前記下側用紙とを剥離可能に接着する剥離可能な接着剤層が設けられていることを特徴とする。

【 0 0 1 1 】

更に、本発明の冊子状印刷物は、前記複数枚の用紙の一部用紙が、他の用紙よりも長い寸法で形成され、前記一部用紙には、折り部を有し、該折り部で前記一部用紙が折り畳まれ、前記一部用紙同士が剥離可能に接着されていることを特徴とすることを特徴とする。

40

【 発明の効果 】

【 0 0 1 2 】

したがって、本発明の冊子状印刷物は、直接重ね合わされている 2 枚の用紙の上側に位置する上側用紙には、所定領域の外形部分に沿って切り込みが形成された切り込み部を有し、前記 2 枚の用紙のうち、下側に位置する下側用紙の表面領域において、前記上側用紙の前記所定領域と上下方向において一致する領域の所定部分に剥離可能な接着剤層が設けられて、前記剥離可能な接着剤層により前記上側用紙の前記所定領域部と前記下側用紙の表面領域とが剥離可能に接着されているので、冊子状の印刷物に葉書、カード、クーポン券、チケット、など種々の分離用の用紙片を設ける場合にも、切り取りミシン目を設けないでも、ハサミを用いることなく簡単に葉書部を分離できるようにすることができるとい

50

う効果がある。

【 0 0 1 3 】

また、本発明の冊子状印刷物は、切り込み部で囲い込まれた領域の外部領域の所定部分に、前記上側用紙と前記下側用紙とを剥離可能に接着する剥離可能な接着剤層が設けられているので、上側用紙と下側用紙と一時的に接着状態にした後に、必要に応じて見開くことができ、見開くことで切り込み部により形成された上側用紙の所定領域部がめくりやすくなるという効果がある。

【 0 0 1 4 】

更に、本発明の印刷物は、複数枚の用紙の一部用紙が、他の用紙よりも長い寸法で形成され、前記一部用紙には、折り部を有し、該折り部で前記一部用紙を折り畳んだ際に、前記一部用紙同士を剥離可能に接着する剥離可能な接着剤が前記一部用紙の周縁部に沿って設けられているので、折り畳んだ用紙の部分に説明文などを記載するなどでき、利用者に多くの情報を提供することができるという効果がある。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 5 】

【 図 1 】 本発明の第 1 実施形態の冊子状印刷物の斜視図である。

【 図 2 】 図 1 の A - A 線断面図である。

【 図 3 】 図 1 の B - B 線断面図である。

【 図 4 】 本発明の第 1 実施形態の冊子状印刷物の使用方法を説明する斜視図である。

【 図 5 】 図 4 の C - C 線断面図である。

【 図 6 】 本発明の第 2 実施形態の冊子状印刷物の断面図である。

【 図 7 】 本発明の第 1 実施形態の冊子状印刷物の上側に設けられた用紙の斜視図である。

【 図 8 】 本発明の第 1 実施形態の冊子状印刷物の下側に設けられた用紙の斜視図である。

【 図 9 】 本発明の第 3 実施形態の冊子状印刷物の断面図である。

【 図 1 0 】 図 9 の D - D 線断面図である。

【 図 1 1 】 本発明の第 1 実施形態の冊子状印刷物において、剥離可能な接着剤層を設ける位置を変えた場合の一例を示す斜視図である。

【 発明を実施するための形態 】

【 0 0 1 6 】

以下、本発明の実施形態に係る冊子状印刷物を図面に基づいて詳細に説明する。

図 1 乃至図 3 に示すように、実施形態に係る冊子状印刷物 1 は、複数枚の用紙が重ね合わされ、前記用紙の略中央部分で接着されて見開き可能な状態で冊子状に綴じ合わされている。

実施形態では、本発明の構成をわかりやすくするために、2 枚の用紙を重ね合わせた構成の冊子状印刷物に、一例として葉書部となる所定領域部 3 を設けた場合について説明する。

この重なり合う 2 枚の用紙は、重ねられた複数枚の用紙の中から任意に選択された 2 枚の用紙であれば、冊子内のどの位置に設けられていてもかまわない。

そして、重ね合わされている 2 枚の用紙の上側に位置する上側用紙 2 には、葉書部となる所定領域部 3 の外形部分に沿って四角形状を有する切り込み部 4 が設けられている。

【 0 0 1 7 】

また、重ね合わされた 2 枚の用紙のうち、下側に位置する下側用紙 5 の表面領域において、前記上側用紙 2 の所定領域部 3 に対して、上下方向において一致する領域の所定領域部に剥離可能な接着剤層 6 が設けられており、この剥離可能な接着剤層 6 により、上側用紙 2 の所定領域部 3 と下側用紙 5 の表面とが剥離可能に接着されている。

図 1 では、剥離可能な接着剤層 6 が、四角の所定領域部 3 の上辺と下辺とに沿った部分に設けられているが、その剥離可能な接着剤層 6 は、どのような形状でも、どの位置に設けられていてもよい。

【 0 0 1 8 】

また、切り込み部 4 で囲い込まれた所定領域部 3 の外側部分には、上側用紙 2 と下側用

10

20

30

40

50

紙 5 とを剥離可能に接着する剥離可能な接着剤層 7 が設けられている。

図 1 では、剥離可能な接着剤層 7 が、上側用紙 2 及び下側用紙 5 の上辺と下辺とに沿った部分に設けられているが、どの位置に設けられていてもよい。

また、上側用紙 2 と下側用紙 5 との間であって、それらが 2 つに折り畳まれる部分には、接着剤 8 が設けられていて、上側用紙 2 と下側用紙 5 とを一体化した冊子構造を有するように構成されている。

剥離可能な接着剤層 6 , 7 や接着剤 8 の位置などをわかりやすくするために、図 7 に上側用紙 2 を示し、また図 8 に下側用紙 5 を示した。

【 0 0 1 9 】

図 4 には、冊子状印刷物 1 から葉書部となる所定領域部 3 を取り外す場合に関して示されている。

その場合には、まず、冊子状印刷物 1 を開いて、上側用紙 2 を下側用紙 5 からめくり上げる。

この際に、葉書部となる所定領域部 3 は、切り込み部 4 で囲い込まれていると共に、その所定領域部 3 の裏面側で剥離可能な接着剤層 6 により下側用紙 5 の上面と接着状態になっているので、下側用紙 5 の上面側に葉書部となる所定領域部 3 だけが残存した状態で残る。

これにより、冊子状印刷物 1 を受け取った顧客などが、葉書部となる所定領域部 3 の存在に気がつきやすくなるように構成されている。

【 0 0 2 0 】

その後、葉書部となる所定領域部 3 の角部を指で摘んで引き上げることで、下側用紙 5 の上面側に葉書部となる所定領域部 3 を分離させることができ、その所定領域部 3 を葉書として用いることができる。

【 0 0 2 1 】

また、この冊子状印刷物の用いる上側用紙 2 や下側用紙 5 などの用紙が、葉書の厚さよりも薄い場合には、図 6 に示すように、上側用紙 2 の上面側に用紙 9 を重ね合わせて、その間を接着剤 1 0 で接着させることで、葉書に適應できるようにしてもよい。

尚、この場合には、用紙 9 にも上側用紙 2 に設けられている切り込み部 4 と重なる位置に、切り込み部を設けることで、葉書部となる所定領域部 3 を抜き取れるようにする。

【 0 0 2 2 】

また、冊子状印刷物 1 は、図 9 及び図 1 0 に示すように、下側用紙 5 の左右寸法を上側用紙 2 よりも長く形成させて、その右側部分を所定の位置で折り畳んで、剥離可能な接着剤 1 3 により接着させるような構成としてもよい。

また、図 9 及び図 1 0 に示した場合には、上側用紙 2 の横幅寸法を、冊子の 1 頁分のサイズとして、接着剤 1 2 により接着させている。

この場合には、折り畳んだ下側用紙 5 の部分にも、印刷スペースが取れるので多くの情報を記載し、また横方向に大きな写真や図面などを表示できるというメリットがある。

【 0 0 2 3 】

また、図 1 1 に示すように、剥離可能な接着剤層 6 は、所定領域部 3 の一部領域を含むように設けるならば、どのような位置でも、どのような形状に設けてもよい。

【 符号の説明 】

【 0 0 2 4 】

- 1 冊子状印刷物
- 2 上側用紙
- 3 所定領域部
- 4 切り込み部
- 5 下側用紙
- 6 , 7 , 1 3 剥離可能な接着剤層
- 8 , 1 0 , 1 2 接着剤
- 9 用紙

10

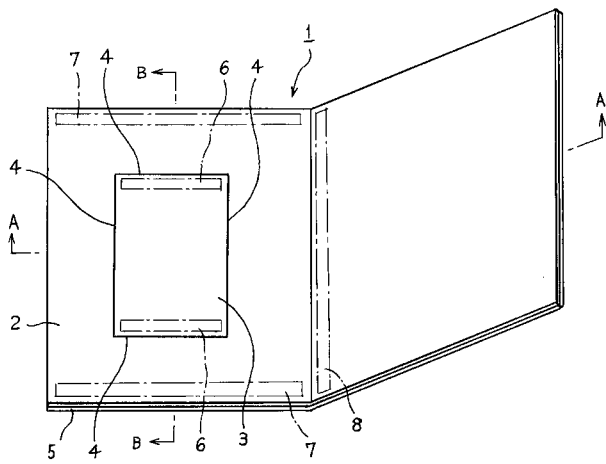
20

30

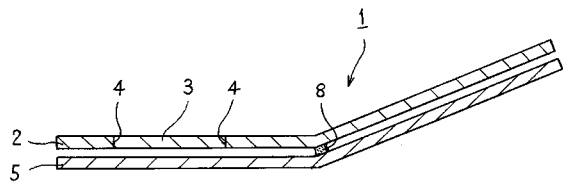
40

50

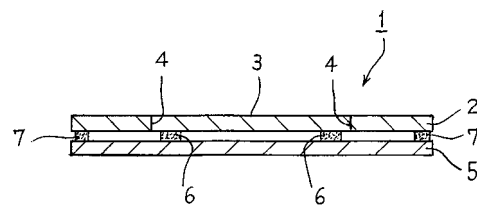
【図 1】



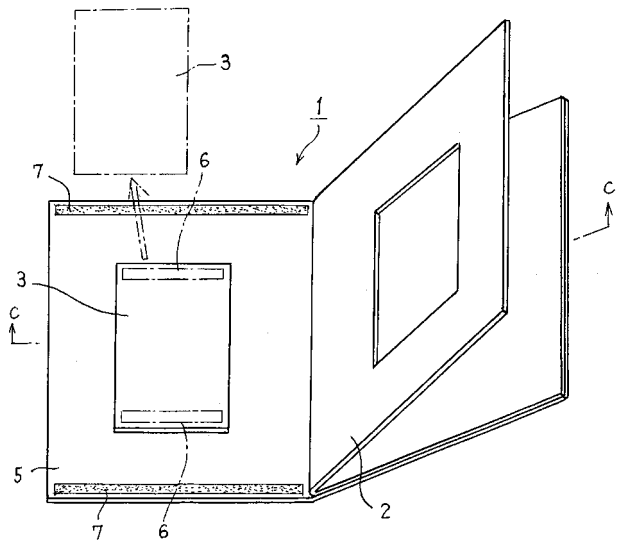
【図 2】



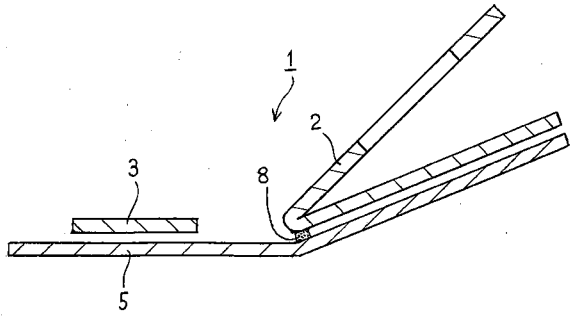
【図 3】



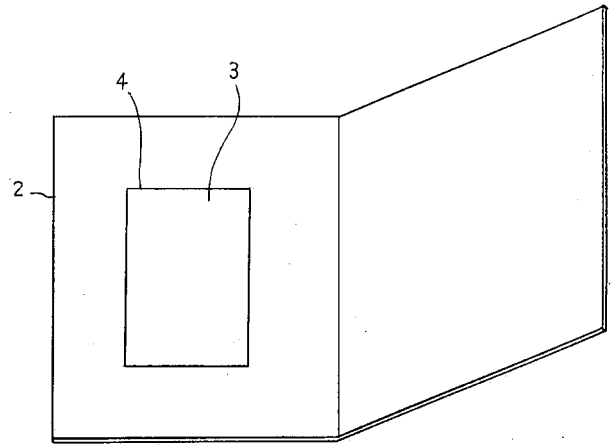
【図 4】



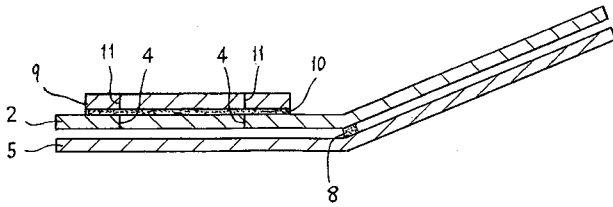
【図 5】



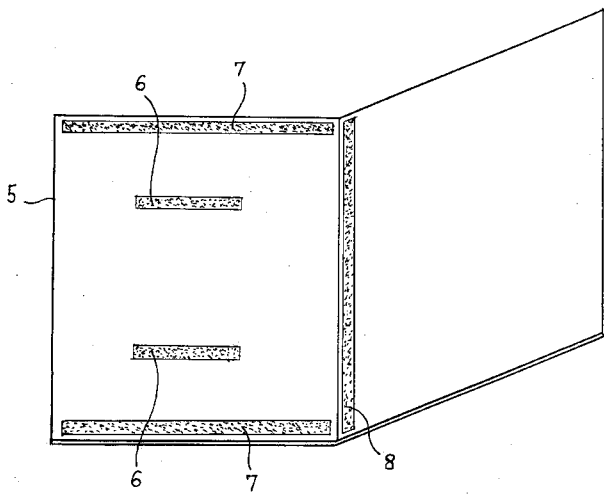
【図 7】



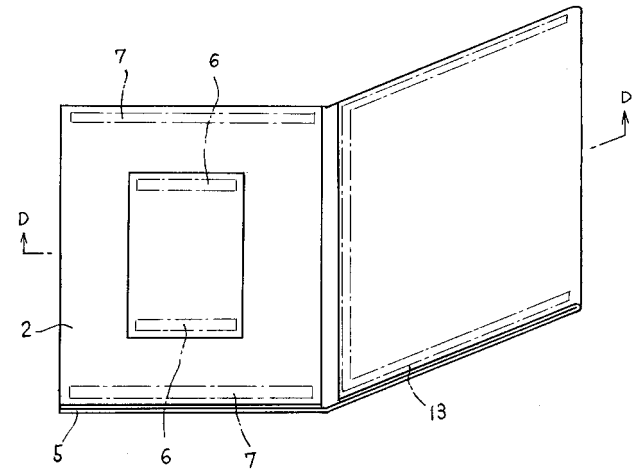
【図 6】



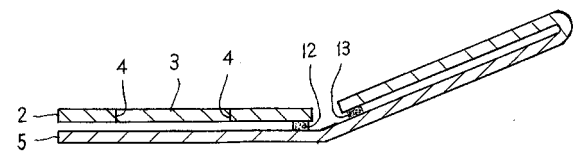
【図 8】



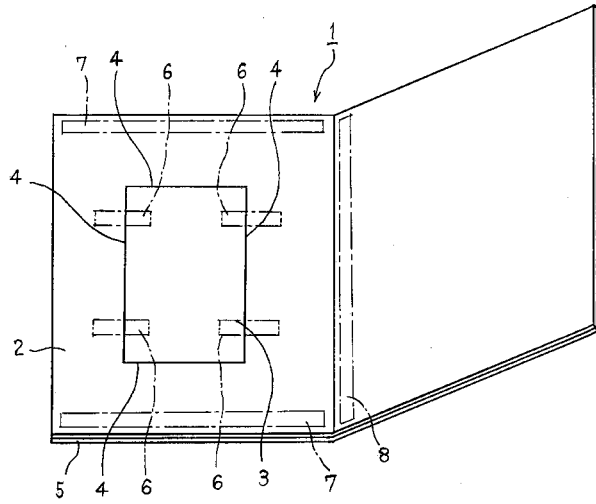
【図 9】



【図 10】



【図 11】



フロントページの続き

(72)発明者 水野 剛秀

東京都新宿区市谷加賀町一丁目 1 番 1 号 大日本印刷株式会社内

Fターム(参考) 2C005 HB13 WA01